

# 錦上添花

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
11月8日発行 NO.23  
文責 出崎 友英

## まっすぐな線を引く。

朝の運動場に、白いまっすぐな石灰のラインが縦、横に引かれていました。体育科の先生がラインカーを使って引かれた白線です。美しい直線に、匠の技を感じました。

私もかつて部活動の顧問をしていた頃、よくラインカーを使って運動場に白線を引いていました。

メジャーや長いひもをピンと張って、それに沿いながらゆっくりゆっくりラインカーを押していきます。しばらく進んだ後振り向いてみると、私が歩いてきた跡にはよれよれの線が描かれていました。まっすぐできれいな線を引くことが私はなかなかできませんでした。

その頃、その学校にラインカーでまっすぐな直線やきれいな円を描くことのできる、体育のS先生がいました。

私はS先生に「どうやったら、先生みたいにまっすぐな線が引けるんですか？」と質問してみました。

すると、S先生は「ラインを引く時、足元のメジャーを見てそれに合わせようとしてはダメだよ。」と言われました。そして「サッカーコートの長い直線を引くときは、ラインの終点になるコートの角の、さらにその先を見るんだ。例えば、あの遠くにある電柱を目指して、目線を上げてそこに向かって歩いて行くようにすれば、まっすぐな線が引けるぞ。」と教えてくれました。➤

S先生から言われたことを参考にして、遠くに目標を定めて顔をあげて、そこをめざしてラインカーを押していくようにしてみました。

すると、それまで引いた線とは違って、まっすぐな線が引けるようになりました。

そして慣れてくると、もうメジャーをあてにしなくても、目標さえきちんと定めれば、まっすぐな線を引くことができるようになりました。



私たちは普段、自分の将来やこれからの生き方についてじっくりと考えることはあまりありません。目の前にあることや少し先にある課題に取り組んでいます。

ライン引きに例えれば、足もとにあるメジャーを見ながらそれに沿うようにゆっくり歩いている感じです。

3年生はそれぞれの進路について具体的に考え、決定すべき時期になりました。

3年生の皆さん。今、君たちがそれぞれめざすところ、それはどこでしょうか。そして、その先にある君たちの夢・目標はなんでしょうか？

まっすぐな線を引くコツは、めざす終点のその先にあるものをめざして、目線を上げて進んでいくことです。

君たちは今、めざす目標を定めて、その目標のもっと先にある自分の未来像を思い描いて、まっすぐに顔をあげて歩いていくべき時期なのだと思います。

## 教育講演会がありました。

11月6日(水)、3年生の教育講演会がありました。講師は車いすラグビー日本代表の乗松聖矢選手です。今夏のパリパラリンピックで見事金メダルを獲得されました。中学時代はできない自分を周りで見られるのがとても嫌で、いろんなことに挑戦することにしり込みしていたそうです。そんな中学時代から金メダル獲得までの人生を振り返り、「今とても幸せです。」と語る乗松選手。3年生にとってとても貴重な学びになった講演会でした。乗松選手ありがとうございました。そして、この講演会を企画・準備いただいた3年PTAの皆様、ありがとうございました。



▲3年生に講話をされる乗松選手

## ◆お知らせ・お願いです。

○本年度の「熊本市体力向上優秀校」の審査があり、錦ヶ丘中が「躍進賞」に輝きました。「躍進賞」とは、前年度と比較して大きな向上が図られた学校に贈られる賞です。これまでの体育の授業や体育大会などの学校行事、部活動などの取り組みが大きな成果となったものだと思います。11月7日に教育委員会より生徒代表に表彰状を渡していただきました。生徒の皆さん、先生方、受賞おめでとうございます。



○11月3日(日)、PTA主催の「制服等リサイクル販売」が開催されました。例年、開始時刻前から長蛇の列ができるほどの恒例行事です。今年も多くの方々が足を運ばれ、準備された制服や体育服などの提供品を手にとられていました。中には始まってすぐに品切れとなるものもありました。品物を提供いただいた方々、そして企画・準備・運営いただいたPTAサポート部の皆さん、ありがとうございました。

人は挑戦しては失敗する。挑戦しては失敗する。でも本当の失敗は、挑戦するのをやめることだ。

「先生のコトバ集」より